

第3期宮前区区民会議 第8回 地参知笑部会 摘録

日 時 平成23年7月15日（金）18：00～20：00

場 所 宮前区役所 第2会議室

参加者 委 員 持田部会長、恒川副委員長、山下委員長、河井委員、久保委員、
中村委員、高橋委員、直本副委員長（オブザーバー）
事務局 有山企画課長、雨宮係長、白石職員
佐谷コンサルタント

1 前回の振り返り

持田 摘録については見ていただいて修正等あれば知らせてほしい。

2 冊子による情報発信と仕掛けづくりについて

①パワーポイントについて

高橋 （パワーポイントの説明）

持田 8月2日の区民会議で説明する。何か修正点などがあるか。1ページ目は「住む町から暮らす町へ」に変更してはどうか。また、説明の中にあつたが表紙の人物を変えた方がいいのか？

高橋 8月2日までには表紙を修正し、事前に皆さんに送る。

持田 4ページ目の「参加してほしい」は表現としてどうか。

河井 「参加してほしい」という表現でいいと思う。

山下 転入者に渡される資料一式をもらってきた。いろいろなものが入っている。これが集約して1冊になっているといい。世田谷区は便利帳1冊に集約されている。

持田 集約する話はこのパンフレットとは別ではないか。20ページとすると便利帳のようなものではないのではないか。

区 作成年度は23年度は間違えなので24年度に修正する。大きさはA4判かどうかは決まってるが、イメージとしてはA4判ではないかと思う。

山下 「るるぶ的」というのは主体性がないように見える。

高橋 「わくわくするような表紙」という表現にするか。

河井 行政がつくっているのではないという感じがすると思う。

高橋 秋に宮前区版のウォーカーが出るそうだ。

直本 「るるぶ的」でもいいのではないか。ただ、旅行のイメージがある。

高橋 「わくわくするような表紙」とする。

持田 7ページの「エリアに特徴があるので・・・」というのはいいか？

高橋 世代別リポートだけでなく、全体でエリアの特徴を表現することを説明する。

佐谷 前回の議論では「中学生・高校生・大学生」というカテゴリーにすることになっていたと思う。

高橋 分け方はとても難しい。

恒川 分け方については、内容を考えていくと整理できるのではないか。

直本 60才代は仕事が終わって地域で暮らしていく層としてあると思う。

河井 高齢者が引越してくることもある。今日も出会った。

第3期宮前区区民会議 第8回 地参知笑部会 摘録

恒川 8月2日はこれでいいと思う。

持田 8ページの体験のページは、いくつかを紹介し、それ以外は他の冊子を見てもらうというイメージである。

山下 町内会に入ってもらおうというのが目的としてあったが、すぐに入ってもらおうのは難しい。

恒川 マンションの居住者は町内会に形式的に入っているが、実態としては関わっていない人が多い。町内会のメリットがわかりづらい。

持田 町会のことは最終的にはなくなる可能性もあるのか。

河井 町内会に入ってもよかったというレポートはあってもいいと思う。

高橋 9ページがこの冊子の特徴だと思う。商店会とタイアップすると思う。

恒川 商店会とのタイアップはいいと思うが、入っていない商店があったり、住んでいる商店が少ないなどの問題がある。

直本 2ページ目には「宮前区の産物」という表現があるが、それがどこにあるのかわからない。

佐谷 資料3で地産地消の直売所や貸し農園を体験レポートするという話が出ていた。パワーポイントでは表現がないが、冊子としては出てくると思う。

高橋 探検レポートで「いちご狩り」などを入れる。

持田 「地産地消」から「地参知笑」となった部会名についての説明は始めに行う。

高橋 11ページのプロフィールはページでなく囲み記事で入れることも考えられる。一般的なデータでなく、宮前区の特徴がわかるデータを載せたい。

恒川 子どもの割合が高いという特徴がある。

区 一人暮らし高齢者の割合も高い。

②つくるための仕組みについて

持田 12ページからの「つくるための仕組み」が課題である。前回は市民館とのタイアップという話が出ていた。

恒川 情報発信の継続性の話だと思う。その1つとしては市民館とのタイアップがあると思う。70の町会の中で情報発信しているところはどれぐらいあるか？町会だよりや防災だよりなどを出しているところがある。

区 ホームページは3～4箇所ある。

恒川 そういうものとの連携が将来的には考えられる。

区 市民館の館長に伝えたところ、一緒にやっていってもいいという話が出ていた。

持田 現在の委員にも関わってもらおうことが考えられる。

高橋 市民館よりは行政の中に置いておいた方がいいと思う。市民活動になると継続性が難しくなる。行政と一緒にやっていった方がいいと思う。

持田 組織づくりについては継続して議論していきたい。

高橋 13ページはインターネットをやっていない人に伝わるか。

持田 インターネットをやっていない人に伝わらないのは仕方ないのではないか。

恒川 組織の継続性をいかにつくっていくか。

高橋 企画課の中にあっただ方がいいと思う。

第3期宮前区区民会議 第8回 地参知笑部会 摘録

区 どこに組織を位置づけるかは今後の話になると思う。

持田 8月2日は2・3ページは自分が紹介し、それ以外は高橋委員にお願いする。また、地参知笑の部会名についての説明も行う。

3 その他

区 次回は組織等の仕組みについて検討してもらおう。また、予算について報告したいと思う。日程は別途調整させてもらおう。

山下 方向性は本部会で固めていく必要がある。よろしくお願ひしたい。